

# とよた市議会 だより

12月市議会  
定例会号  
平成25年2月1日

ファイルNo.  
113

農山村定住応援住宅条例を制定

**低家賃住宅を設置し、定住をサポートします**

事務分掌条例を改正し、市役所の組織を改編

**保健所機能を集約して健康部を新設します**



ピックアップ  
**TOPICS**  
トピックス

## 青年就農給付金制度で支援

### 若手農業者を応援

本市では、45歳未満で独立・自営就農をする方に対し、あらたに青年就農給付金制度で、年間150万円を支給します。就農後の不安定な経営を支え、これからの農業の担い手を応援します。

#### ●トップインフォメーション

議員の仕事 ～地域市議会報告会・市民シンポジウム編～

2

#### ●議案説明・討論

条例の制定・一部改正など

4

#### ●議案審議結果

5

#### ●常任委員会 付託案件・請願を審査

6

### 市政について問う!

#### ●一般質問 18人の議員が質問

8

#### ●トピックス

議員研修・防犯キャンペーンなど

12



# 議員の仕事



地域市議会報告会・市民シンポジウム編

6月定例会号では議事堂における定例会を、9月定例会号では県外での常任委員会の行政視察をご紹介しました。今回は、議員がみなさまのお住まいの地域に伺って、議会活動の成果等を報告し、あわせてみなさまと意見交換、情報共有をするため開催した、地域市議会報告会と市民シンポジウムについて、準備の裏側も含めてご紹介します。

5月



開かれた議会を目指し、議会運営委員会で地域市議会報告会、市民シンポジウムを開催することを決定。開催時期や開催地域、運営を担当する委員会なども決定しました。

6月～10月



各担当委員会において、開催日、会場、内容などを決定。資料作成や広報活動など具体的な企画についても検討しました。

開催当日



開催当日は、会場設営や受付、司会進行、アンケートの回収などの各担当に分かれ、全て議員が運営をしました。

10月・11月



市民シンポジウムに関し、10月26日には豊田市駅前健康に関する啓発グッズとチラシを配り、街頭での広報活動を実施しました。

また、11月9日には、議長と議会運営委員長が、地元ケーブルテレビやFMラジオの生放送に出演し、PRをしました。





## ◆ 地域市議会報告会



- 日 時／平成24年11月3日(土)  
午後2時～3時30分
- 場 所／高岡コミュニティセンター、小原交流館  
(2会場同時開催)
- 内 容／★9月定例会報告、質疑  
★意見交換

### 開催概要

地域市議会報告会は、議員が各地域に伺って議会活動に伴う成果等を報告し、あわせてみなさまとの意見交換、情報共有等を行うものです。

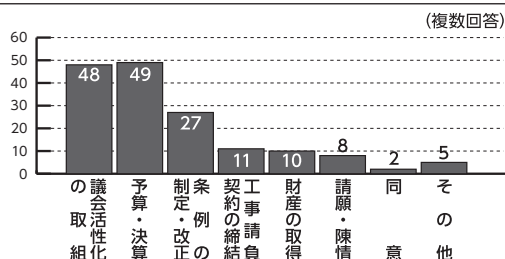
2年目となる今回は、市内2会場で同時開催し、214名の方にご参加いただきました。

報告会では、9月定例会の報告を各常任委員会が行い、議案審議に対する質問や議会に関する質問に回答をするなど、参加者と意見交換をしました。

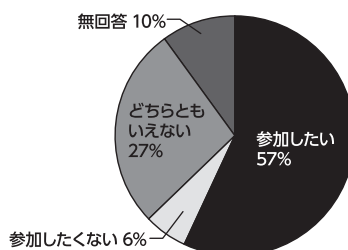
### アンケート結果

※一部抜粋

#### Q どのような報告内容に興味をもたれましたか？



#### Q 議会報告会にまた参加したいと思いますか？



## ◆ 市民シンポジウム



- 日 時／平成24年11月10日(土)午後2時～4時
- 場 所／高橋コミュニティセンター
- テーマ／健康づくり ～自分で健康をよぼう～
- 内 容／第1部 基調講演 「眠る、食べる、そして歩く」  
《講師》 湯浅 景元氏(中京大学教授)
- 第2部 パネルディスカッション  
《コーディネーター》 湯浅 景元氏  
《パネリスト》 豊田加茂医師会、トヨタ自動車健康保険組合、豊田市健康づくり協議会、豊田市、豊田市議会

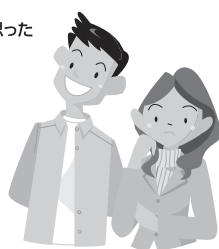
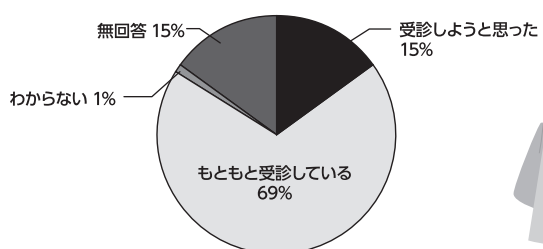
### 開催概要

市民シンポジウムは、本市の課題となっていることなどを、みなさまとともに考え、意見交換を行うものです。今回は、健康づくりをテーマに、特定健診の意義と病気の予防・対策について考え、あわせて意識啓発を図ることを目的に開催し、113名の方にご参加いただきました。会場では、手話通訳をまじえてパネルディスカッションを行い、医療関係者や健康づくりに取り組むみなさまと意見交換するなど、健康で明るく元気に生活できる社会について考えました。

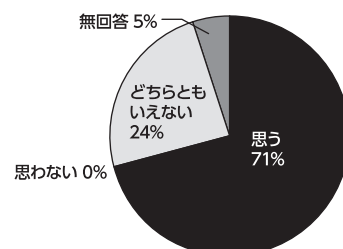
### アンケート結果

※一部抜粋

#### Q このシンポジウムに参加して、今後健診を受診しようという気になりましたか？



#### Q シンポジウムにまた参加したいと思いますか？



### — info — 今後の取組

次回の地域市議会報告会は、以下のとおり予定しています。

猿投会場：平成25年4月14日(日) 下山会場：平成25年4月21日(日) 両会場とも午後2時～



# 条例の制定・一部改正など52議案を議決

	主な案件名	内容
条例の制定	【第134号】 豊田市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例	「自立型の都市」づくりを目指す本市において、市独自の政策を進めるために条例・規則など法務の面で高度な専門知識が必要とされています。 また、行政課題の複雑化により年々職員からの事務に関する法律相談も増えています。 これらの課題に対応する目的で、来年度からあらたに弁護士資格を有する者を任期付職員として採用するため、必要な事項を条例で定めます。
条例の一部改正	【第137号】 豊田市情報公開条例及び豊田市個人情報保護条例の一部を改正する条例	本市は、平成17年4月の市町村合併を機に、本市の行政の歩みが記載された歴史的価値のある公文書(歴史公文書)の収集、整理、保存を行っています。これからの本市の発展についてみなさまと共に考えていく資料とするため、現行の情報公開制度の対象範囲に歴史公文書を加え、公開していく仕組みを作ります。 なお、歴史公文書の公開は東庁舎7階の公文書管理センターにおいて、平成25年4月から実施する予定です。

## 討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。※発言順に記載

### 市民フォーラム 安藤 康弘

議案109号は、本市の待機児童の多くが低年齢児であるという実情を踏まえ、乳児室面積が国の基準である一人当たり1.65平方メートルを上回る3.3平方メートルに設定され、保育環境を十分考慮したものであり、賛成。

請願4号は、リーマンショック後の生活保護世帯の急増に歯止めがかかったのは、自立に向けた就労支援の成果であったことから、これら自立支援の取組を評価し、国や他の自治体に対して働きかけるべきであると考え、反対。

### 諸 派 大村 義則

議案108号～133号は、地域主権一括法の施行による関係法令改定に伴い市条例を改定するものである。国の最低基準をはずすことによる質の低下が懸念されたが、市が独自に設定した基準に後退がないことに加え、事務経費や人材についても大きな変動はないことから、賛成。

請願4号は、生活保護の99%が適正に運用されている中で、一部の悪質ケースを全体の不正であるかのように印象づけるのは不当な世論誘導であり、最後のセーフティネットである生活保護制度の後退を許さないためにも、賛成。

### 諸 派 青山 さとし

議案135号は、農山村の地域活性化が、農山村定住応援住宅によって促進されることが期待できる。また、旭地区の地域活性化と、その一翼を担う多くの人たちの入居を期待し、賛成。

議案148号の「不妊治療補助金」増額の補正予算について、不妊治療に関する不安やリスク、利点などを広く理解してもらうことが重要である。自治体として補助金のみを支給して、あとは病院任せでは問題解決にならないので、しっかりと不妊治療に関する手助けを担うことを期待し、賛成。

### 諸 派 岡田 耕一

議案136号は、戦略方針、政策立案の中心的な役割を担う経営戦略室の新設、保健所機能である健康部の独立など組織改編によって政策立案機能の強化や危機管理への迅速な対応が図れることを期待し、賛成。

議案159号は、浦野侂興元国務大臣および鈴木公平前市長両氏の功績は評価するものの、政治家は報酬を得て住民に奉仕することが職務であり、あらためて名誉市民に推挙する必要性を市民が感じているとは思えない。また税金から支出した功労金などを授受することにも疑問を感じることから、反対。

### 公明党 田代 研

議案136号は、財政状況が不透明な環境下では政策の選択と集中は重要であり、また、地方自治体は中期的な政策を自ら決めなければならないため、政策の企画立案と予算編成を連動させて政策課題に対応する必要があることから、賛成。

議案148号の青年就農給付金について、本市の農業従事者は高齢化が進み、若い担い手の育成と定着が課題となっているため、青年就農者へ給付金は不安定な経営の支援や農業への定着を促進するものと考え、賛成。

### 自民クラブ 神谷 和利

議案134号は、専門的な知識経験を有する民間人を採用するために規定する給与表は、妥当な水準であり、また優秀な人材を確保して政策法務を推進することは、行政事務の公平性・公明性を維持すると考えることから、賛成。

議案159号は、浦野侂興・鈴木公平両氏が、公共の福祉増進、産業文化の進展に寄与したことに加え、市民生活の向上および市の発展に貢献し、郷土の誇りとして市民の尊敬を受けるものであると考え、賛成。



※議案名など一部省略して記載しています

# 12月市議会定例会に提出された案件

採決結果	議案	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く									
		自民クラブ 27名		市民フォーラム 9名		公明党 4名		諸派 4名			
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対		
◆議案	第108号	救護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	27	0	9	0	4	0	4	0
	109	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	110	養護老人ホーム等の設備及び運営に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	111	指定障害福祉サービスの事業等の設備、運営等に関する基準等を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	112	婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	113	診療所の専属薬剤師の配置に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	114	公衆浴場の設置の場所の配置及び衛生措置等の基準に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	115	興行場の設置の場所及び構造設備の基準等に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	116	理容の業に係る衛生措置等に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	117	美容の業に係る衛生措置等に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	118	クリーニング所等に係る衛生措置等に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	119	指定居宅サービスの事業等の人員、設備、運営等に関する基準等を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	120	移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	121	道路構造の技術的基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	122	市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	123	移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	124	市営住宅等の整備に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	125	準用河川管理施設等の構造に関する技術的基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	126	布設工事監督者の配置基準及び資格並びに水道技術管理者の資格を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	127	旅館業の施設の構造設備の基準に関する条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	128	食品衛生条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	129	都市公園条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	130	有料駐車場条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	131	市営住宅条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	132	特定都市河川浸水被害対策法に基づく豊田市長の許可を要する雨水浸透阻害行為の規模等を定める条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	133	公共下水道条例及び都市下水道条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	134	一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	135	農山村定住応援住宅条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	136	事務分掌条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	137	情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	138	手数料条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	139	自転車等放置防止条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	140	暴力団排除条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	141	豊田市の環境を守り育てる条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	142	障害者自立支援法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	143	道路の管理及び占用に関する条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	144	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	145	準用河川占用料条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	146	簡易水道等設置条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	147	下水道事業受益者負担金条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	148	平成24年度一般会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	149	// 国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	150	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	151	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	152	// 簡易水道事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	153	// 後期高齢者医療特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	154	工事請負契約の変更(一級河川安永川トンネル新設工事[平和・秋葉工区])	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	155	訴えの提起(時効取得による土地所有権移転登記手続請求事件)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	156	指定管理者の指定(新婚者住宅すまいる聖心ほか21施設)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	157	指定管理者の指定の期間の変更(鞍ヶ池緑地及び西山公園)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	158	逢妻衛生処理組合規約の変更に関する協議	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	159	名誉市民の推挙(浦野休興氏、鈴木公平氏)	//	27	0	9	0	4	0	1	1
◆同意	第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任(新任:川上明子氏、再任:大友啓次氏、村上洋氏)	同意	27	0	9	0	4	0	4	0
	9	人権擁護委員の推薦(新任:安藤善志夫氏、石川みつ子氏、再任:中村美弥子氏、本田哲康氏)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	10	監査委員の選任(河合芳弘氏)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
◆報告	第12号	専決処分の報告(和解の成立5件、損害賠償額の決定9件、工事請負契約の変更1件)									
◆請願	第4号	生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書	不採択	0	27	0	9	0	4	2	2
◆陳情	第8号	[愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書]の提出を求める陳情書									
	9	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書									
	10	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書									
	11	愛知県の第三子保育料無料化事業費補助金を継続・拡充する意見書の提出を求める陳情									
	12	福祉・保育労働者の処遇改善・人材確保に関する国への意見書採択についての陳情									
	13	[子ども・子育て関連3法実施にあたっての意見書]提出を求める陳情書									

※議案第159号は諸派2名が棄権





12月19日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。  
委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

## 産業建設 委員会

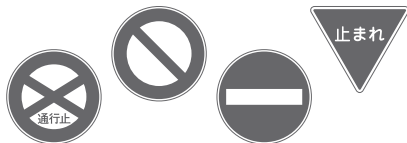
12月20日、付託された18議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第122号】豊田市市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例

**質問** 案内標識、警戒標識及び補助標識等の寸法を2分の1に縮小できる規定を設けるに至った理由は何か。

**答弁** これらの標識については、拡大することは認められていたが、縮小することは認められていなかった。

道路幅の狭い箇所では標識に車が接触し、曲がった事例が見られるため、標識寸法を縮小し、通行に支障がないようにすることで、安全性の向上を図るためである。



【第135号】豊田市農山村定住応援住宅条例

**質問** 一時的に居住することのできる住宅をつくると同時に、農林業従事者を増やす施策や農山村に定住してもらう施策を一体的に実施すべきと思うが、どう考えているか。

**答弁** 定住促進に向けた取組に、産業振興に向けた取組や交流の促進の取組など、人を迎え入れることができる農山村地域を目指した施策を連携して実施している。



## 環境福祉 委員会

12月20日、付託された15議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。他に陳情4件を報告しました。

【第111号】豊田市指定障害福祉サービスの事業等の設備、運営等に関する基準等を定める条例

**質問** 災害対策として食料の備蓄に関する独自規定を設けない理由は何か。

**答弁** 本市では大規模な災害が発生した場合に備えて、市内の入所施設と、災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書を順次締結している。

この協定書では、市が日常生活用品、食料品および医薬材料等の必要な物資の調達に努めるものとされており、さらに必要物品の備蓄を条例で義務付けることは、施設側に過度な負担を強いることになると判断したためである。



## 教育次世代 委員会

12月21日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情3件を報告しました。

【第109号】豊田市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

**質問** 省令より上回る保育所の職員配置基準とこのことだが、保育師を多く配置することによる私立こども園の負担に対する財政的支援はどのようなか。

**答弁** 私立こども園には、国が定める基準により、人件費や管理費等にあてるための保育所運営費の支弁に加え、公立こども園と同等の保育環境を確保するため、保育所運営費では不足する人件費等に対し、市単独で運営費補助金を交付し、支援を行っており、条例制定後も引き続き支援していく。

**質問** いぼばらこども園での事故を受けて、ガラスなどの安全基準について条例を改正する考えはあるか。

**答弁** 保育所に限らず、建物の安全に関する基準は、建築基準法で定められている。また厚生労働省令により設備の基準が定められており、これまで公立・私立ともに、改善を要求されるような設備はなかった。今回の事故を受けて、国の基準を上回る、あるいは国基準と異なる内容を条例に盛り込むことは考えていないが、職員の危機管理意識の更なる醸成を図り、再発防止に努めていく。また現在、全ての公立・私立園におけるガラス扉等の安全対策の状況を調査しており、危険箇所への安全対策を実施するとともに、ガラスへの衝突防止対策を徹底していく。



# 委員会

## 生活社会 委員会

12月21日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第146号】豊田市簡易水道等設置条例の一部を改正する条例

**質問** 下山簡易水道事業で計画されている事業内容はどのようなか。

**答弁** 宇連野町地内の管末から方形浄水場内にある配水場までの約2.5キロメートルに、送水管布設及び加圧ポンプ場1箇所を整備する予定である。



**質問** 平成29年度に、全市で上水道の経営統合が行われるが、今回の条例改正との関連性はどのようなか。

**答弁** 今回の条例改正は、平成29年4月に予定している全市域の経営統合を視野に入れたものであり、平成17年の市町村合併を機に、これまで各町村単位で給水されていた簡易水道事業等について、効率的で安定的な水運用と維持管理コストの低減を図るものである。今回の条例改正で、簡易水道事業は17箇所の給水区域から5箇所の給水区域となり、簡易水道区域での統合はこれで終了する。

## 企画総務 委員会

12月25日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第136号】豊田市事務分掌条例の一部を改正する条例

**質問** 経営戦略室に複数の部長級職員の配置をする予定と聞いているが、特別職として配置することは検討したのか。

**答弁** 経営戦略室は、将来を見据えた政策について、市長、副市長等の特別職と共に検討し、実施に向けて所管部局を支援する役割を担うが、政策の実現のために、経営戦略室の職員が部局に異動して実践側に回ることも必要な場合もあると考える。このことから、必要に応じて人事異動で部門長に配置することも可能とするために、一般職である部長級の職員の配置とした。

【第155号】訴えの提起(時効取得による土地所有権移転登記手続請求事件)

**質問** 訴えの相手方である被相続人の相続人が75名にもなるが、係争中に相続人が亡くなるなど、相続人が増えたり変わってしまった場合にどのように対応するのか。

**答弁** 裁判の途中で相続人が亡くなったような場合は、亡くなった方の分の裁判を分離し、それ以外の方の裁判の判決を先にいただく形になると思われる。亡くなった方の分の裁判については、その相続が確定した段階で別に判決をいただく形をとっていく。



## 予算決算 委員会

12月19日から26日にかけて、付託された補正予算6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第148号】平成24年度 豊田市一般会計補正予算

**質問** 人件費のうち、公務災害補償基金負担金の増額補正の内容は。

**答弁** 東日本大震災により被災した地方公務員に対する臨時的な公務災害補償等の給付費として72億円ほど、震災関連の公務災害防止として復興支援に当たった公務員のメンタルヘルス対応などに5億円ほど必要であったと聞いており、こうした経費を全国の地方自治体で等分に負担をするため、臨時的経費で設定をされたものである。率は、全国一律であり、平成22年度の給与の総額に約0.04パーセントを乗じて得た額を計上している。

**質問** 新規就農総合支援費補助金の給付対象者は、これから農業を始める人だけなのか、また、給付対象者が途中で農業をやめた場合は給付金を返還しなければならないのか。

**答弁** 本年度からの新規事業であり、基本的には平成24年4月1日以降に農業経営を開始した人が対象であるが、経過措置が設けられており、平成20年4月1日以降に開始した人も対象とされている。

また、給付は半年単位となっており、その間、適正に農業経営をしていれば返還の対象とはならないが、給付期間中に離農した場合は、残りの対象期間の給付金を月単位で返還することになる。



12月17日から19日にかけて、18人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

**日恵野雅俊** 自民クラブ

- 第7次豊田市総合計画後期実践計画
- (仮称)第2次教育行政計画
- 豊田地域医療センターの再整備

**質問** 豊田地域医療センター再整備の今後の進め方

豊田地域医療センターの再整備検討委員会が提出した報告書を受けて、今後、市としてどのように進めていくのか。

**答弁** 市長

地域医療センターの機能や規模などの協議を始めるに至った要因は、ここ数年の救急医療、災害医療、中山間地域医療などの整備が進んだほか、医療関係者の努力により市民のみなさんが受診に困るような事態になっていないためである。将来を見通した地域医療センターの姿を示していただいた今回の報告を参考にしながら、年度内をめどに最終判断をしたい。



**岡田耕一** 諸派

- 本市における交通指導員のあり方
- 豊田市企業誘致推進条例、規則の改正を求める
- 健康維持、増進策としてのマレットゴルフ

**質問** 条例の重点産業分野に航空宇宙分野などの追加

企業誘致における重点産業分野に航空宇宙分野を追加すべきと考えが見解は。

**答弁** 産業部

航空宇宙関連分野は世界規模で需要が見込める有望分野の一つと認識している。加えて、愛知県は国際戦略総合特区の指定を受け、航空宇宙産業の集積拠点の形成を目指していることから、本市においても産業振興委員会や企業誘致審査会の意見を聞きながら、航空宇宙関連分野の重点産業分野への追加について検討していく。



**太田博康** 自民クラブ

- 学校の学習環境の向上
- 都市の新たな成長基盤の整備
- 更なる防犯対策の推進

**質問** 小中学校の教室への扇風機設置について

普通教室に設置した扇風機の効果検証の結果と、特別教室への扇風機設置の考え方は。

**答弁** 教育行政部

普通教室に設置した扇風機の効果についてのアンケートでは、児童生徒の94%、校務主任の99%が教室が涼しくなったと回答したほか、児童生徒の71%、校務主任の97%が授業に集中できるようになったと回答している。このことから十分な効果があったと考えている。また、校務主任の99%から、特別教室にも扇風機を設置してほしいという意見が出されており、来年度

以降、利用頻度の高い特別教室に、順次扇風機を設置していきたいと考えている。



**原田勇司** 自民クラブ

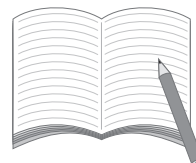
- 第2期市民活動促進計画
- 指導力のある教師の育成・養成
- 教育の機会均等を図る奨学金制度の充実

**質問** 奨学金制度の今後の取組について

奨学金の返済負担の重さを理由に、大学進学をあきらめる人も多いと聞く。優秀な人材が経済的な理由で進学を断念したり、将来の不安無く学業に専念できるよう、支給型奨学金の導入を考えては。

**答弁** 学校教育部

本市の貸付奨学金制度は国の貸付奨学金制度の充実により一定の役割を果たしたと考えている。今後は家計の厳しい優秀な学生が安心して進学し、勉学に励むことができるように、これまでの貸付型奨学金制度を見直し、返還義務のない支給型奨学金への切り替えなどを検討していきたい。



**鈴木章** 自民クラブ

- 後期実践計画における中山間地施策

**質問** 後期実践計画の事業実施にあたっての財源の考え方

第7次豊田市総合計画後期実践計画における中山間地施策の実施にあたり、その財源をどのように考えているのか。





※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

# 一般質問

## 答 弁 総務部

農山村振興対策は後期実践計画においても積極的に進めていく施策に位置づけられる見込みである。過疎対策事業債の制度に期限があることや、今後、地方交付税が段階的に減少、あるいは終了するなど、本市にとっては厳しい状況となってくるが、その事業の推進に当たっては、引き続き過疎対策事業債など有利な制度を最大限活用していく。



## 作元志津夫 市民フォーラム

### ●中小企業支援による産業の活性化

#### 質 問 中小企業支援の方針と取組姿勢

産業革新ビジョン2011を踏まえ、今後の中小企業支援の方針と取組姿勢はどのようなか。

## 答 弁 市長

人材やノウハウ、時間、資金などの不足によって新たな事業展開に踏み出せない中小企業の実情を踏まえ、新事業展開に向けた産学官連携の研究会をできるだけ早く立ち上げたい。また、企業訪問ツアーの実施や学生と企業のマッチングの場の提供などによる人材確保の支援などを行っていくほか、大型見本市への集団出展などで企業を対外的にPRし、新たな事業展開を応援していく。これらの支援は、とよたイノベーションセンターを核として活用しながら、スピード感を持って取り組んでいく。



## 大村義則 諸派

### ●産業政策と雇用対策の転換をもとめる

#### 質 問 再生可能エネルギーの導入促進と育成支援

再生可能エネルギーの導入促進と関連産業の育成について、本市の考えは。

## 答 弁 総合企画部

今回の再生可能エネルギーに関する指針策定は、再生可能エネルギーの導入促進を狙いとした関連産業の育成支援の方針を定め、持続可能で活力ある低炭素社会、安全・安心で自立した都市の実現を目指すものである。施策の方針では、市内事業者が新たなビジネスチャンスとして、自動車産業で培った技術や経験を生かし、発電事業や再生可能エネルギーに関連した製品づくりなどに取り組むことを中心に支援する方向性を定めている。指針に基づき、早期に具体的な施策を打ち出していく。



## 根本美春 諸派

### ●新システム実施より、公的保育の拡充を ●障がい児・障がい者への支援の拡充を

#### 質 問 難聴児の補聴器購入費の補助制度と、生活・教育支援

難聴児の補聴器購入費の補助制度をつくり、生活・教育での支援を行うことに対する考えは。

## 答 弁 福祉保健部

本市には愛知県内でも2か所しかない難聴児通園施設の「なのはな」を平成8年度に開設し、難聴児の早期発見・早期療育に積極的に取り組んできた。補聴器で聴覚を補うことは、言語や精神の発達、社会性の構築などに効果があるほか、学齢期においては授業内容を聞き取るのに有効であり、教育現場の円滑化にも貢献する。そうした認識の中で、すでに中等度以下の難聴児への補聴器購入費助成制度を平成25年度から実施するための予算計上等の準備を進めている。

## 深津真一 自民クラブ

### ●市民生活の安定に向けて ●火災予防の推進 ●豊田市民の安全・安心

#### 質 問 地域バスの新規路線の考え方

地域密着型の地域バスの新規路線の実施計画はどのようなか。

## 答 弁 社会部

地域バスは主要な交通ネットワークの鉄道や基幹バスを補完するための公共交通で、地域内をくまなく運行し、地域住民の日常生活を支えるのが目的である。地域バスは地域住民が主体となって運行を支えるのが基本のため、新規路線を開始する場合は、計画の立ち上げ段階から、地域と行政とが共働して進め、計画立案してから本格運行まで3年ほどの検討期間を要する。現在、上郷地域が平成21年度に、石野地域が平成23年度に、逢妻地域が平成24年度に、それぞれ準備組織を立ち上げて検討している。





※質問順に掲載しています。

**古木吉昭**

市民フォーラム

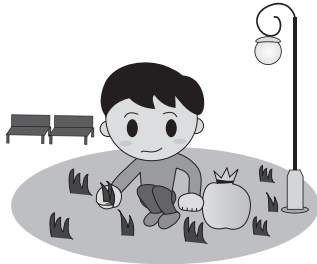
- 豊田市公園整備事業
- 学校における新たな取組

**質問** 効率的な公園管理

公園を気持ちよく使ってもらえるように、人に害のない除草剤を定期的に散布してはどうか。

**答弁** 建設部

現在、公園の草刈は年3回行っており、除草剤の散布については公園の利用者、地域住民の安全面を考慮し、原則使用していない。人体への影響がないと言われている除草剤もあるようだが、本市では草刈作業より経費が高いと判断しており、今のところ使用は考えていない。しかし、使用の安全性の確認および材料単価が下がった段階で再度検討を行っていく。



**桜井秀樹**

市民フォーラム

- 外国人にやさしいまち豊田をめざして

**質問** 外国人支援の将来を見据えた体制

今後、外国人の方と市民のかかわりが多様化する中で、行政の部署・体制を強化すべきと考えるが、どうか。

**答弁** 総合企画部

グローバル化がますます進む中、国際化への対応は多様な分野で、より大きなウエイトを占めていくと考えて

いる。国際課の役割は、国際化施策を一部局で対応するのではなく、施策の主導と担当部局への支援を行い、職員の国際化への意識と能力を向上することで、市の国際化への対応力を高めていくことにあると考えている。こうした視点に立ち、次期計画の実践に必要な体制の整備につとめていく。

**伊井房夫**

自民クラブ

- 第7次豊田市総合計画後期実践計画
- 組織の見直しに伴う職員の職制の見直し
- 東海丘陵湧水湿地群の保全

**質問** 藤岡地区の地域核の整備

後期実践計画で、藤岡地区の地域核の整備をどう取り組んでいくのか。

**答弁** 社会部

藤岡支所・交流館の建替事業と、支所周辺の道路などを整備する藤岡飯野地区まちづくり事業は、後期実践計画事業に位置づけて取り組んでいきたい。県の交差点の改良工事に伴い、まず藤岡支所へのアクセス道路を新たに整備することが必要になる。続いて新たな支所と交流館、バスターミナルや駐車場、周辺道路などの整備を進めていく計画である。今後は独自の都市再生整備計画を策定して国からの交付金を活用した上で、住民と協議を重ね、着実に進めていきたい。



**松井正衛**

自民クラブ

- 市民共働型社会の構築に向けて

**質問** ICTまちづくり推進事業

総務省公募に採用されたICTまちづくり推進事業の概要と期待される効果は。

**答弁** 都市整備部

本事業は「医療分野」と「交通分野」を中心にICT(情報通信技術)を活用し、移動支援や福祉サービスの向上に向けた実証を名古屋大学等と共働で行うものである。具体的には、医療分野では医療情報を収めたICカードの発行と専用読み取り機の設置による救急救命活動の支援、交通分野ではGPS(全地球測位システム)やスマートフォンによる緊急時に役立つ情報提供を予定している。本実証は、特に高齢者の日常生活における医療と交通の利便性の向上に効果を発揮すると期待している。



**中村孝浩**

市民フォーラム

- 豊田市の健康づくり

**質問** 地域独自のウォーキングコース数と地域との連携

地域独自のウォーキングコース数は。また、本市のつくったコースとの連携の考え方は。

**答弁** 福祉保健部

地域予算提案事業で設定したコースは、平成24年11月末現在で検討中のものまで含めると56コースある。ウォーキングコースの全体的な整理が必要だが、ウォーキングに対する意識





# 一般質問

の高まりを健康づくりの施策に活かすことも重要であると考えている。(仮称)第2次豊田市健康づくり計画では、まちぐるみでの健康づくりを目指しており、今後、ウォーキングを1つの切り口として関わることで地域と連携した健康づくりを進めていきたい。



**佐藤 恵子** 公明党

● 下水道の予防保全

**質問** 将来の更新費用の財源確保の考えは

将来の下水道管路の更新費用の財源確保の方策は。

**答 弁** 上下水道局

本市の下水道事業の財源は、下水道使用料のほか一定の基準に基づく一般会計からの繰入金によるところが大きいため、現在、将来の更新費用の財源はほとんど確保できていない。平成40年代半ばには大規模改築更新時期を迎えることから、さらなる財源の確保が求められている。今後、更新費用の削減や年度間の平準化も視野に、計画的に事業を実施するとともに、使用者負担と公費負担の適正化や一般会計からの応分な負担を求めながら、内部留保資金等を計画的に蓄えていく必要がある。

**光岡 保之** 自民クラブ

● 産廃行政の透明性・安全性・公平性・正当性の確保

**質問** 封じ込める廃棄物の環境基準上の調査は行ったのか、行ったとしたらその結果は

豊徳鉱山の敷地内に封じ込める廃棄物の環境基準上の調査とその

結果を伺いたい。また、情報公開請求をした平成24年の市の対応記録に「市が実施した埋設廃棄物の調査結果で、溶出量基準を超える有害物質(鉛)が検出された」とあるが、市の認識と対応は。

**答 弁** 環境部

平成23年10月～11月に、廃棄物の分析の調査を行い、封じ込める廃棄物の分析結果は基準値を超えていなかった。一部、許可された最終処分場の埋立廃棄物において、鉛が埋立基準を超えていたが、環境影響上問題はないと認識している。豊徳鉱山が実施した地下水、浸出水および放流水の調査結果は基準値を超えておらず、市が毎年実施している地下水および放流水の調査でも、異常がないことを確認している。今後も水質検査を定期的に行い、生活環境の保全上の支障がないことを確認していく。

**清水 郁夫** 自民クラブ

● いじめの根絶に向けて  
● 人材育成と採用  
● 豊田市再生可能エネルギー

**質問** 地区別の再生可能エネルギーの導入可能性の状況

本市の再生可能エネルギー導入可能量のエネルギー別の全体像と、各エネルギーの地区別の導入可能性は。

**答 弁** 総合企画部

環境省が平成22年度に全国で実施した調査では、本市における再生可能エネルギーの導入可能量は年間16億kwh。内訳は太陽光が7.7億kwh、風力が6.7億kwh、小水力が1.6億kwh。各エネルギーを地区別で見ると、太陽光は市内全域、風力は下山地区、小水

力は河川部では稲武、足助、旭地区、農業用水路では小原、猿投、上郷地区で導入の可能性が高くなっている。しかし、実現するためには課題も多く、実際に導入できる量は限られてくる。



**木本文也** 自民クラブ

● 交通安全教育  
● 地域自治システム  
● 公共施設の利活用

**質問** スケアードストレート交通安全教室の全市的な展開は

事故現場を再現して見せ、交通规则の大切さを学ばせるスケアードストレート交通安全教室を今後、全市的に展開する考えはあるか。

**答 弁** 社会部

スケアードストレート交通安全教室により交通事故の恐ろしさを感じることで、交通安全意識を高揚させることは有効な手法と捉えている。しかし、児童、生徒たちに対する心理的な影響を無視することはできないため、地域、学校等と慎重に調整を図ったうえで、実施が可能であると判断できた場合は実施していきたい。また、交通安全学習センターの講習メニューに、スケアードストレート交通安全学習教室の導入も併せて今後検討していく。





◆お知らせ◆ 12月4日に八木哲也氏が辞職したため、豊田市議会の現在の議員数は45名です。



### 議会の危機管理について学ぶ 議員合同研修会を実施

11月15日、知立市文化会館で西三河四市（岡崎、安城、知立、豊田）の議員合同研修会が開催されました。講師に明治大学名誉教授の中邨章（なかむら あきら）氏を迎え、「自助と公助のはざままで」と題して地方議会の改革と危機への備えについて学びました。

◀西三河四市の議員に講義を行う中邨氏（左）



### 年末防犯キャンペーンに参加

12月3日、防犯意識を高め、年末年始を安全に過ごしていただくよう、中心市街地で街頭啓発活動を実施しました。地域の防犯活動団体と市議会議員が協力し、歩行者に啓発グッズを配布しながら防犯の大切さを呼びかけました。

◀名鉄豊田市駅周辺で啓発グッズを配布



### 藤岡南中学校生徒が議会を傍聴

12月17日、藤岡南中学校3年生の生徒152名が社会科の授業の一環として12月定例会に訪れ、一般質問を熱心に傍聴しました。豊田市議会では、わかりやすく開かれた議会を目指して、議会傍聴や議場見学の受け入れを行っています。

◀熱心に傍聴をする藤岡南中学校の生徒のみなさん

#### おわびと訂正

とよた市議会だより9月定例会号(平成24年10月15日発行)の11ページ「一般質問」の原稿に一部誤りがありました。おわびして訂正いたします。

[P11右下 岡田議員の質問2行目]「・・・購入総額 約42億円・・・」

→正しくは「購入総額 約142億円」です。

## ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

### 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 http://toyota-shigikai.jp

「市議会だより」のバックナンバーや  
詳しい会議録もご覧いただけます。

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



F M ラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

### 3月市議会定例会の予定

3月市議会定例会は  
2月22日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。  
本紙から抜き取ってご覧ください。



石膏/リブ配合率100%再生紙を仕様



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています